

＜清和台中学校 学校関係者評価＞

今年度の学校評価を行うにあたり、職員、生徒、保護者にアンケートを行いました。その結果をもとに学校で自己評価を行い、学校関係者に説明を行ったところ下記のようなご意見をいただきました。これらのご意見については、全教職員に周知するとともに、次年度の学校教育目標の設定、並びに教育課程編成の参考といたします。

【学校関係者からいただいたご意見】

- 先生方の想いが、生徒に響いていることを感じた。
- この結果を見ても、子どもたちにとって、行事は大切であることがわかる
- 子どもが安心して学校に通っている様子が伺える。
- 評価ではないが、現状把握の項目で、生徒がまだまだ地域行事に興味をもつことができていないことが伺える。地域にもっとつながってくれたらと思う。
- 授業の評価については、生徒の評価はAであるが、それと比較すると保護者の評価が低めに出ている。学校は「日頃の実践を見直し、より子どもたちの力となるような授業ができるよう研修を進める」と説明しているが、一番大切なのは生徒と教員の間で進行する授業である。そこを大切にしていけたらよいと思う。
- 授業の内容等で、教員と生徒の評価が高く、それと比較すると保護者が少し評価が低いという結果について、教員については「それだけ自信をもって授業づくりをしている」ということのあらわれではないかと思う。そのことが生徒に伝わっているなら、現状でよいのではないか。学校がこの結果を受けて、「教科単位で、学校全体で更なる授業の研究をしなくてはならない」と言われているが、その方向性はそれでよいと思う。